

下水道管路更生管理技士 —資格試験制度—について

キーワード

管路更生工法，施工管理，品質管理，下水道管路更生管理技士，資格試験

友部 秀久

TOMOBE Hidehisa

(一社)日本管路更生工法品質確保協会
事務局長



1. はじめに

下水道管路の布設延長は約48万キロメートルとなっており、このうち50年を経過した管路延長は約1.9万キロメートルとなっております。今後50年を経過した管路施設が急増する見込みで、下水道施設における維持管理・更新費は現状の年間0.8兆円から10～30年後には年間1.3兆円に増加するものと推計されてお

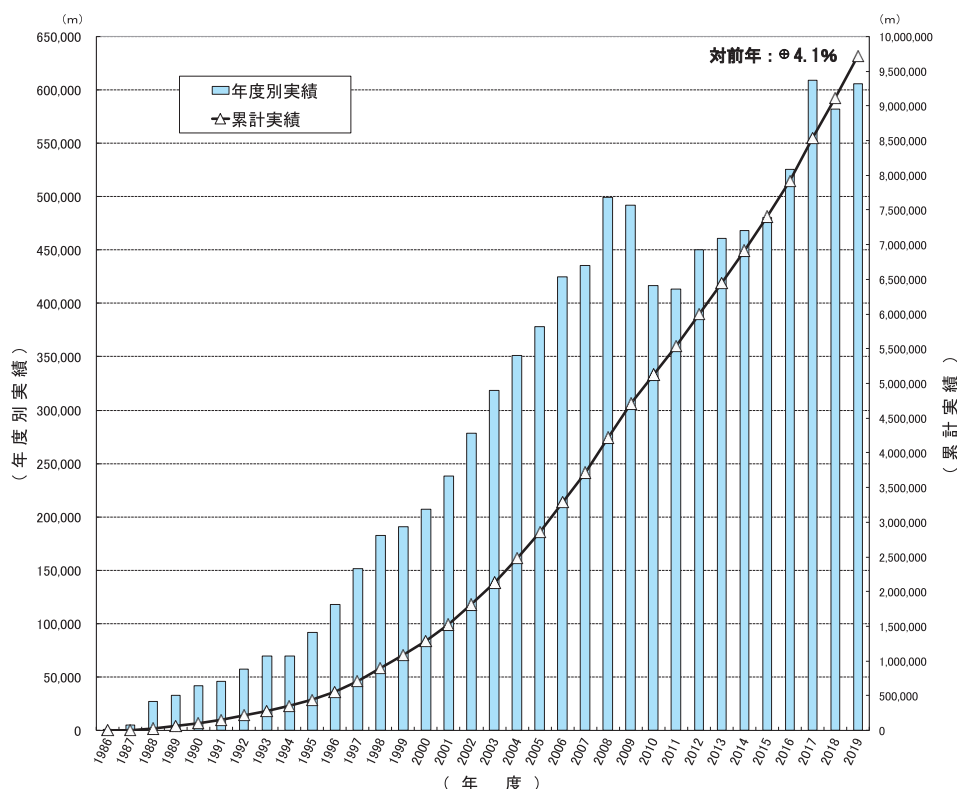
り、適切な維持管理や計画的な改築更新を実施していく必要があります。

このような状況下において管路更生工法は、膨大な都市インフラ資産を環境に考慮し、効率的な長寿命化を実現できる技術であり、その活用は下水道事業等の運営に大いに貢献するものであると確信しております。

管きょ更生工法による管路施設の改築は、2019年度末累計実績9,720キロメートル（図－1）で、この

うち下水道管路が94%を占め、更に増え続けている状況であります。

このような中で、下水道をはじめ上工農業水分野における管路の機能再生・改築事業等で広く活用される更生工法および工事について、その技術の向上と普及を図るとともに、広く社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とし、日本管路更生工法品質確保協会は発足いたしました。管路更生に関わる調査・研究の推進や関係団体への意見具申、更には海外との交流強化など幅広い活動を展開しています。



図－1 管きょ更生工法の実績推移